

第21回ハイライフセミナー

# 2020年の 都市居住、 その佇まいを探る。 持続可能な都市居住をめざして

20年におよぶわが国のデフレ経済は社会のいたるところに歪みをもたらし、人口減少時代に切りかわった今、猛スピードで超高齢化社会へ向かうところとなっています。都市生活者にとって、豊かな未来への手ごたえを実感するのが年々、困難になりつつあります。そして、3.11。東北の景色と地図が一変してしまった惨状。歴史上、都市居住の持続可能性が今日ほど問われている時代はないといえます。

こうしたなかで、都市居住の豊かさの研究と実践に取り組んできた専門家を招いて、手の届く近未来2020年、都市居住をほんの少し魅力的なものにしていくための知恵を交換するセミナーを開催することにいたしました。

**日時** ▶ 2011年11月15日(火) 15:00~18:00

**会場** ▶ ホテル・ヴィラフォンテーヌ汐留

**主催** ▶ 公益財団法人ハイライフ研究所 **協力** ▶ 株式会社読売広告社



## プログラム

主催者挨拶	15:00~	高津 伸司 公益財団法人ハイライフ研究所 副理事長
第1部 プレゼンテーション	15:10~	一億総“主人公”時代 ~個が未来をつくる 榎本 元氏 / 株式会社読売広告社 都市生活研究所所長
	15:40~	未来のコミュニティをデザインする ~スカイビレッジ構想 迫 慶一郎氏 / SAKO建築設計工社 主宰
	16:10~	“温故知新で豊かな東京(都市)を再生する” 服部 圭郎氏 / 明治学院大学教授
休憩	16:40~	
第2部 パネルディスカッション	16:50~	「2020年の都市居住、その佇まいを探る」 榎本 元氏 / 迫 慶一郎氏 / 服部 圭郎氏 / 高津 伸司
	17:50~	質疑応答

## 講演者プロフィール



榎本 元(えのもと はじめ)  
読売広告社都市生活研究所所長

1961年愛知県生まれ / 1984年広島大学工学部卒 / 1997年読売広告社入社 / 2009年~現職  
コミュニケーションの専門家としての立場から、都心タワーマンションや大規模集合住宅、更にはまちづくりの開発コンセプト、商品企画、販売広告戦略に携わるなど、20年以上にわたり、不動産、都市開発、住宅開発等のコミュニケーション・コンサルティング業務を担当。生活者を街の中心にすえ、コミュニケーションの専門家としての立場から様々な企画立案を行っている。著書に「シックプライド / 都市のコミュニケーションをデザインする」(共著、宣伝会議)。



迫 慶一郎(さこ けいいちろう)  
SAKO 建築設計工社 主宰

1970年福岡県生まれ / 1994年東京工業大学卒業 / 1996年東京工業大学大学院修士 / 1996年-2004年山本理顕設計工場 / 2004年 SAKO 建築設計工社設立 / 2004年-2005年米国コロンビア大学客員研究員、文化庁派遣芸術家在外研修員  
北京を拠点に現在までに 60 超のプロジェクトを、中国、日本、韓国、モンゴル、スペインで手掛ける。建築設計とインテリアデザインを中心としながらも、グラフィックや家具、都市計画マスタープランまで、仕事範囲は多岐に渡る。中国では、その場の状況からしか生み出し得ない建築「チャイニーズ・ブランド・アーキテクチャー」を明確な「主題」とともに作り続けている。



服部 圭郎(はっとり けいろう)  
明治学院大学経済学部教授

1963年東京都生まれ / 東京そしてロスアンジェルス郊外サウスパサデナ市で育つ。東京大学工学部卒業 / カリフォルニア大学環境デザイン学部で修士号を取得 / 某民間シンクタンクを経て、2003年から明治学院大学経済学部で教鞭を執る。2009年4月から2010年3月ドイツのドルトムント工科大学客員教授。現在に至る。  
専門は都市デザイン、都市計画、フィールドスタディ。主なプロジェクトに、マレーシア新都市サイバージャのマスタープランなど。主な著書に『道路整備事業の大罪』、『人間都市クリチバ』、『衰退を克服したアメリカ中小都市のまちづくり』、『サステイナブルな未来をデザインする知恵』、共著に『下流同盟』、『脱ファスト風土宣言』、『都市計画国際用語辞典』など。共訳書に『都市の鍼治療』、『オープンスペースを魅力的にする』。技術士(都市・地方計画)。

## セミナーの参加申し込み (募集定員100名) \*定員になり次第募集を終了いたします。

ハイライフ研究所セミナー事務局宛てにメールまたはFAXで、下記必要事項とともに「2020年の都市居住、その佇まいを探るセミナー 参加申し込み」と記載し、下記にお送りください。

ハイライフ研究所セミナー事務局 (担当 萩原・高木) メール: [info@hilife.or.jp](mailto:info@hilife.or.jp) FAX: 03-3563-7987

第20回ハイライフセミナー参加申込書			
貴社名(団体名)			所属・役職
ご芳名			
住所			
TEL			FAX
メールアドレス			

## 会場案内図

